

令和5年度 小規模プール衛生管理講習会

小規模プールの衛生管理について

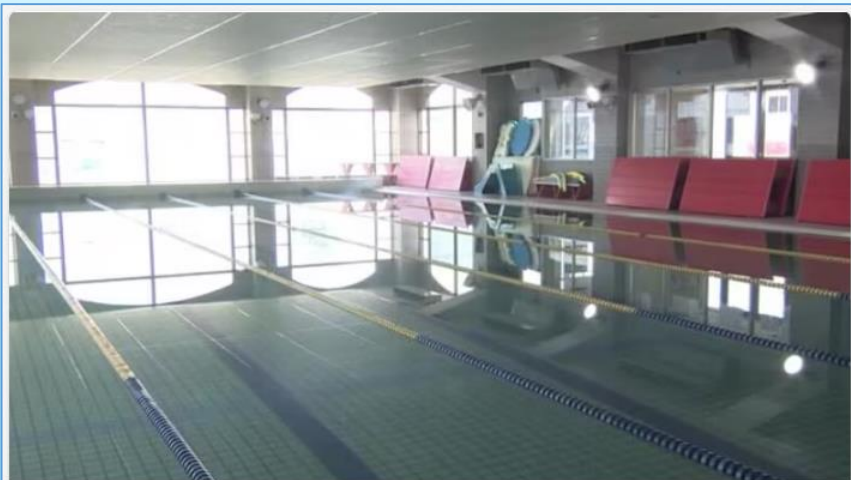
令和5年6月13日

東京都南多摩保健所

生活環境安全課

環境衛生担当

プールの衛生・安全のために



監視員3人とも気づかず…スイミングスクールでプールの底に沈み死亡した5歳男の子 当時子供19人が参加

富山テレビ

5歳男児 プールの底に沈んでいる状態で発見…病院に搬送されるも死亡 スイミングスクール運営会社代表は「監視態勢に緩みがあった」との認識 富山・高岡市

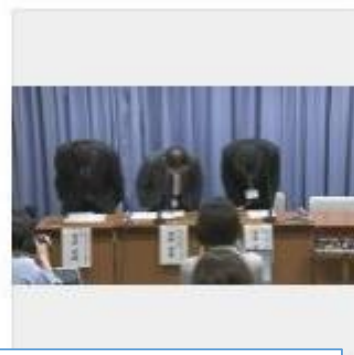
4/22(土) 23:56 配信 1885

22日夕方、富山県高岡市のフィットネスクラブのプールで、スイミングスクールに参加していた5歳の男の子がプールの底に沈んでいる状態で見つかり、病院に運ばれましたが死亡が確認されました。23日施設側が取材に応じ

【速報】障がい者福祉施設のプールで80代男性が意識不明の状態で発見 搬送先で死亡 他の利用者が発見し職員ら救助 大阪府は会見で謝罪

5/13(土) 16:07 配信 30

MBS NEWS



大阪府によりますと、堺市南区にある大阪府立障がい者交流促進センター「ファインプラザ大阪」のプールで、5月12日午後0時15分ごろ、利用者である80代男性がプール内で動かない状態であるところをそばにいた利用者が発見したということです。

男性は職員により救助され、意識不明の状態で病院へ搬送されましたが、5月13日に死亡したということです。

ごろから午前10時ごろまで、ストレッチのプログラムを受入るの専用レーンで歩行を始めたということです。その後、男面につけるような姿勢で動きが止まっている様子を別の利用ということです。

謝罪。監視員が利用者の変化を確認できなかったことを重く確認などを指定管理者に指示したということです。

チューリップテレビ



講義内容

- 1 小規模プールとは
- 2 シーズン前の準備
- 3 監視について
- 4 プール水の塩素消毒
- 5 遊泳前／中／後の確認事項
- 6 ご質問



1 小規模プールとは



小規模プール：容量50m³未満のプール

- 許可、届出は不要
- 構造設備、維持管理基準→努力義務

容量50m³以上のプール(営業プール、学校プール)

- 条例に基づき、許可または届出が必要
- 構造設備、維持管理の基準あり

※東京都「プール等取締条例」

小規模プールの特徴

- 園庭等に設置する仮設設備利用が多い
- 水が汚れやすい
- 残留塩素濃度の維持が難しい



求められる管理

- 利用者の特性に応じた管理
- 施設ごとの設備形態に合わせた管理

2 シーズン前の準備

- (1) 設備の点検、清掃
- (2) 物品の準備、準備
- (3) 職員間で情報共有

2 シーズン前の準備

(1) 設備の点検、清掃

- プール水槽

破損やとがった部分はないか
排水口・吸込み口の点検

- プールサイド

滑りやすくなっていないか、破損はないか

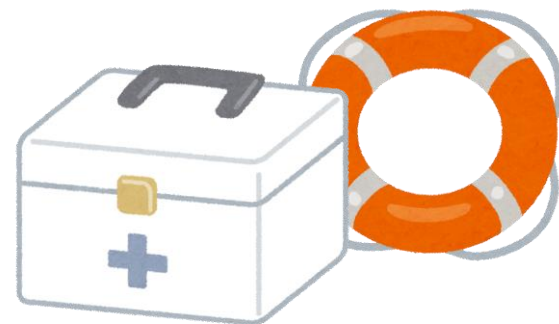
- シャワー、洗眼器など

使用できるか



2 シーズン前の準備 (2) 物品の購入、準備

- 消毒用塩素剤
使用期限、保管場所の確認
- 塩素測定器、DPD試薬
セルの汚れ、試薬の使用期限の確認
- 救命用品
- 記録表（プール日誌）



2 シーズン前の準備 (3) 職員間での情報共有

- 施設管理の方法
薬品の管理、使用前の点検など
 - 子どもの健康管理、当日の手順
 - 監視体制
 - 緊急時の対応、連絡体制
- 「だれが、どのように」



3 監視について

(1) プールの事故事例

(2) 監視のポイント



消費者安全調査委員会イラスト集より

3 監視について (1) プールの事故事例

事例1) 平成23年7月、神奈川県内幼稚園、3歳児

プール活動中、3歳児が水深約20cmのプールでうつ伏せに浮いているのを発見。近接のクリニック（園医）に搬送、さらに救急搬送されたが病院で死亡が確認された。事故発生時、園児11人を教諭1人で指導と監視を行う状況で、遊具の片付けにより園児に背を向けたことで監視の空白時間が生じていた。また、事故直後119番通報はなく、救命処置（胸骨圧迫等）もなかった。

男児の溺水が死亡につながった原因として

- (1) プール活動中の園児の監視体制に空白が生じたことによる発見の遅れ
- (2) 当該幼稚園において、一刻を争うような緊急事態への備えが十分ではなく必要な救命処置を迅速に行えなかったことが可能性として考えられる。

〔出典：消費者安全法による事故等原因調査報告書、消費者庁ホームページ〕

3 監視について（1）プールの事故事例

事例2）令和5年4月、富山県内スイミングスクール、5歳児

水泳教室の練習が終わった後の遊び時間に、水深120cmのプールで沈んでいるのを発見（60cmの台あり）。

監視カメラの映像からは、男児がプールに飛び込んだ後、浮上せず、沈んでいく様子が確認できるという。飛び込んだ勢いでヘルパー（水泳補助用の浮具）が外れ、台からも滑り落ちた可能性がある。男児が溺れてから沈んで見つかるまで約5分かかっていたとみられる。病院に搬送されたが、1時間20分後に死亡が確認された。

監視員4人のうち、1人はプールと事務所を行き来し、残る3人のうち、2人がプールサイド、1人がプール内にいた。**クラブ**経営者は「監視員の注意不足。体制に緩みがあった」と認める。県警は業務上過失致死の疑いも視野に捜査。

〔出典：報道記事等〕

3 監視について

(2) 監視のポイント

「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びの事故防止 及び熱中症事故の防止について」
(令和5年6月7日)

The screenshot shows the homepage of the Tokyo Bureau of Social Welfare and Public Health. At the top, there are navigation links for language (日本語, English, etc.) and a search bar. The search bar contains the text "キーワードを入力してください" and a "検索" button. Below the search bar, there is a navigation menu with "施設案内" selected. The main content area displays the title of the document: "教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びの事故防止及び熱中症事故の防止について". A red box highlights the search bar and the "検索" button.

(令和4年6月13日)

東京都福祉保健局 (※)
ホームページに掲載

※7月以降 福祉局と保健医療局に

A close-up of the search bar area from the screenshot. It shows the "検索" button and the "検索ページ" link. A blue arrow points to the "検索" button.

3 監視について（2）監視のポイント

○監視体制の確保

プール活動・水遊びを行う場合は、監視体制の空白が生じないように専ら監視を行う者とプール指導等を行う者を分けて配置し、また、その役割分担を明確にすること。

3 監視について（2）監視のポイント

○職員への事前教育

事故を未然に防止するため、プール活動に関わる職員に対して、こどものプール活動・水遊びの監視を行う際に**見落としがち**なリスクや**注意すべきポイント**について**事前教育を十分に行うこと**。

3 監視について（2）監視のポイント

「プール活動・水遊びの際に注意すべきポイント」

- ① 監視者は**監視に専念**する。
- ② 監視エリア**全域をくまなく監視**する。
- ③ **動かない子ども**や**不自然な動き**をしている子どもを見つける。
- ④ 規則的に目線を動かしながら監視する。
- ⑤ 十分な監視体制の確保ができない場合については、プール活動の中止も選択肢とする。
- ⑥ 時間的余裕をもってプール活動を行う。等

「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」より
（平成28年3月 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

3 監視について（2）監視のポイント

キーワードは監視に専念

○参考資料

（消費者安全調査委員会作成）

動画

「幼稚園等のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために」

保育所、認定こども園にカメラを設置して
どのようなときに監視の空白ができるのかを調査
→「危険性のある子どもの行動」と
「監視が十分できていない場面」を抽出

消費者庁ホームページ

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/

The screenshot shows the official website of the Consumer Affairs Agency of Japan. The page is titled '動画「幼稚園等のプール活動・水遊びでの溺れ事故を防ぐために」' (Video 'Preventing drowning accidents in pool activities and water play at kindergartens'). The main content area features a large illustration with the text 'プール活動・水遊びの溺れ事故を防ぐため' (To prevent drowning accidents in pool activities and water play) and '消費者安全調査委員会' (Consumer Safety Investigation Commission). A sidebar on the right contains a navigation menu for the Consumer Safety Investigation Commission, including links to the committee's overview, information releases, reports, and other documents.



3 監視について (2) 監視のポイント

○参考資料

(消費者安全調査委員会作成)

プール活動・水遊び 監視のポイント

監視役の先生は、
最初から最後まで監視に専念！

調査で見られた危ない場面



幼稚園、保育所、認定こども園の先生方へ

**プール活動・水遊びの溺れ事故を防ぐため、
監視役の先生は、最初から最後まで監視に専念！**
～監視のポイント～

1. 監視役の先生は、子どもより先にプールサイドへ

始める前に



子どもたちの着替え、シャワー、換着のサポート等々、しなければならぬ事が沢山あり、つい監視役の先生も、他の先生の手伝いをして、プールへの到着が遅れることがあります。一方で、準備ができた子どもは、早く水遊びをしたいため、プールに近づき、中をのぞき込んだりします。

監視役の先生は、必ず子どもより先にプールに行き、監視が始められる状態になってから、子どもを迎えるようにしましょう。

2. 監視役の先生は、プール全体を見渡せる場所で監視に専念！ 交代するときは、子どもたちに目を配ったまま

実施中



子どもが監視役の先生の視野の範囲(視界)の外に行ってしまうことがあります。また、交代するとき、監視ができていない状態が発生してしまうことがあります。

過去には、監視役の先生が、遊具の片付けなど、ほかの作業を行っていて、ふと監視の目を離した際に、溺死事故が起っています。



監視役の先生は、監視に専念しましょう。プール内外で子どもが困っているのを見つけても、怪我や事故につながる緊急時以外は他の先生に知らせるだけにとどめ、自分は監視を続けましょう。監視を交代するときも、子どもたちから目を離さないようにし、次の監視役の先生にその場で簡単に引継事項を伝えましょう。

3. 監視役の先生は、最後の子どもが退水したことを確認

終わるとき



プール活動が終わると、監視役の先生も監視を止め、水から上がった子どものシャワーや着替えの補助に回ることがあります。しかし、プールに残っている子どもがいると、再び遊び始めたり、中には転んでしまうこともあるかもしれません。大人が見ていないプール内に子どもだけがいるのは、非常に危険です。

監視役の先生は、子どもたち全員が退水するまで、その役割を全うすることが重要です。全員が退水後、再度プールに目をやり、指差し確認をして水の中に残っている子どもがいらないことを確認しましょう。

4. 水をためたプールからは、子どもを離す工夫を

プール活動外



プール活動・水遊びの時間に関係なく、子どもは、水の入ったプールに近づき、中をのぞいたり、水を触ったりします。もし、水に落ちたまま戻らなくなると、溺れ事故につながりかねません。

子どもにプール活動・水遊びの時間以外にはプールに近づかないよう指導すると同時に、入口に網をかける、柵を設けるなど、子どもがプールに近づき、中をのぞくような工夫をしましょう。活動後、すぐに水を抜くのも有効ですが、その場合は、水がなくなったことを確認しましょう。



消費者安全調査委員会

令和2年5月21日

https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/

1. 監視役の先生は、子どもより先にプールサイドへ

始める前に



子どもたちの着替え、シャワー、消毒のサポート等々、しなければならぬ事が沢山あり、つつい監視役の先生も、他の先生の手伝いをして、プールへの到着が遅れることがあります。一方で、準備ができた子どもは、早く水遊びをしたいため、プールに近づき、中をのぞき込んだりします。

監視役の先生は、必ず子どもより先にプールに行き、監視が始められる状態になってから、子どもを迎えるようにしましょう。

2. 監視役の先生は、プール全体を見渡せる場所で監視に専念！ 交代するときは、子どもたちに目を配ったまま

実施中



子どもが監視役の先生の視野の範囲（視界）の外に行ってしまうことがあります。また、交代するときに、監視ができていない状態が発生してしまうことがあります。

過去には、監視役の先生が、遊具の片付けなど、ほかの作業を行っていて、ふと監視の目を離れた際に、溺死事故が起こっています。



監視役の先生は、監視に専念しましょう。プール内外で子どもが困っているのを見つけても、怪我や事故につながる緊急時以外は他の先生に知らせるだけにとどめ、自分は監視を続けましょう。監視を交代するときも、子どもたちから目を離さないようにし、次の監視役の先生にその場で簡単に引継事項を伝えましょう。

3 監視について (2) 監視のポイント

○参考資料

(消費者安全調査委員会作成)

プール活動・水遊びに関する チェックリスト

～園長用～

- ・ 緊急時のマニュアル作成、定期的な訓練
- ・ プール活動に関する指導マニュアル作成
- ・ 監視者の人数、配置は園ごとの事情を考慮して適切に定めること

など

プール活動・水遊びに関するチェックリスト^{※1}

～園長用～

- 内閣府、文部科学省、厚生労働省「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」（平成28年3月31日）を確認してください。
- 事故を未然に防止するため、プール活動に関わる職員に対して、子供のプール活動・水遊びの監視を行う際に見落としがちなリスクや注意すべきポイントについて事前教育を十分に行ってください。
- プール活動に関わる職員に対して、子供を対象とした心肺蘇生などの応急手当や非常時の対応について事前教育を行ってください。
- 一刻を争う状況にも対応できるように119番通報を含む緊急事態への対応（EAP^{※2}）を整理し、マニュアルや定期的な訓練等により共有してください。また、緊急時に実践できるよう、日頃から緊急時対応訓練を行い、マニュアルが実践的なものであるかを検証し、必要に応じて見直してください。
 - ・園内での連絡の手順（誰が、どの順番で）を訓練してください。
- プール活動・水遊びに関する指導マニュアルを作成し、実践的なものであるかを検証し、必要に応じて見直してください。
 - ・以下の項目については十分に検証してください。
 - ・プール活動・水遊びの活動の内容や時間帯、時間配分は、子供の体調や生活のリズムなど、安全性を考慮して適切に定めてください。
 - ・監視者の人数、配置については、園のプールの広さや形、一度に水に入れる子供の人数、年齢、時間帯など園ごとの事情を考慮して、適切に定めてください。ヒヤリハットが発生したときは、情報を共有し、原因を考え、改善策を検討して実行してください。
- プールでの指導を行う職員のほかに、監視者を必ず決めてください。

監視者について次の事項をあらかじめ確認し遵守させてください。

- 監視者は、水の外、プールサイドに配置してください。
- 集中力を保つため、できるだけ定期的に交代させてください。
- 複数名で監視をさせるときは、担当エリアを決めてください。
- 監視者は、目立つ色の帽子やビブス等を着用させて周囲からも監視者であることが分かるようにしてください。
- 水の外で監視に専念する人員を配置することができない場合には、プール活動・水遊びを中止してください。
- 時間的余裕をもって活動させてください。

: プールシーズンごと : プール活動ごと

(注1) 本チェックリストは、消費者安全調査委員会が、アンケート調査において幼稚園等から回答のあった独自の実績を参考にして作成した。

(注2) EAP (Emergency Action Plan) (特定非営利活動法人日本ライフセービング協会編 2017年9月10日発行「プール・ライフガードング教本」第6章参照)

消費者安全調査委員会

※平成30年4月24日「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びに関する実態調査
〔平成28年7月11日に神奈川県内の幼稚園で発生したプール事故に関する意見のフォローアップ〕」（消費者安全調査委員会）附属資料1

3 監視について (2) 監視のポイント

○参考資料

(消費者安全調査委員会作成)

プール活動・水遊びに関する チェックリスト

～監視を担当する職員・スタッフ用～

- ・ 目立つ色の帽子やビブスなど、周囲から誰が監視者であるかわかるようにする
- ・ 子供たちに監視の先生には話しかけない、一緒に遊べないことを知らせておく
- ・ 子供は静かに溺れることも多い など

プール活動・水遊びに関するチェックリスト[※]
～監視を担当する職員・スタッフ用～

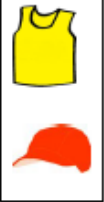
監視者は、監視に専念しなければなりません。
プール活動の指導や片付けをしてはいけません。
一瞬たりとも子供たちから目を離さないことが大事です。


【プール活動・水遊びの前に】

- 目立つ色の帽子やビブスなど、周囲から誰が監視者であるか分かるものを身につけましょう。子供たちに、「監視の先生はみんなを守ることが仕事なので、話しかけない、用を頼まない、一緒に遊んだりできないこと」を知らせておきましょう。
- あなたが監視する位置と時間を確認しましょう。
 - ・監視エリアの全体が見えるよう、プールサイドで水の外から監視をしましょう。
 - ・集中力を保つため、できるだけ定期的に交代しましょう
 - ・複数名で監視をするときは、担当エリアを確認しましょう。
- 園で決めた緊急時対応の手順をあらかじめ確認しましょう。
プールサイドに、連絡手段（電話など）やAEDがあることをあらかじめ確認しましょう。

【プール活動・水遊び中】

- プール全体、子供たち全員を監視しましょう。
 - ・定期的に視線を動かしながら監視しましょう。





(出典：特定非営利活動法人日本ライフセービング協会編 2017年9月10日発行「プール・ライフガードング教本」P.35～36)

- ・監視場所に近いところや、浅い場所など、一般に安全と思われる場所も、監視がおろそかにならないよう、注意してください。
- ・溺れるときには、「助けて!」「バシャバシャ」といった状況とは限らず、実際には静かに溺れることも多いと言われてます。動かない子供や不自然な動きをしている子供がいなくなかに留意しながら監視をしましょう。
- ・子供たちの表情にも注意し、声をかけたり注意を促したりしましょう。
- ・担任の先生と連携し、水が苦手な子、体の動きがぎこちない子、指示が伝わりにくい子、興奮しやすい子などの子供理解の上で監視をしましょう。
- ・ヒヤリハットを経験したときは、情報を園内で共有しましょう。

【万一、子供たちが溺れたときには】

- 重篤の場合は、すぐに119番通報をするとともに、救命処置をしましょう。
(注：本チェックリストは、消費者安全調査委員会が、アンケート調査において幼稚園等から回答のあった独自の取組を参考にして作成した。)

消費者安全調査委員会
※平成30年4月24日「教育・保育施設等におけるプール活動・水遊びに関する実態調査」
(平成23年7月11日に神奈川県内の幼稚園で発生したプール事故に関する意見のフォローアップ) (消費者安全調査委員会) 附属資料2

4 プール水の塩素消毒

- (1) 塩素剤の種類
- (2) 塩素濃度の管理
- (3) 塩素剤を扱う際の注意点

4 プール水の塩素消毒

(1) 塩素剤の種類

成分	性状		有効塩素含有量
次亜塩素酸 ナトリウム	液体	アルカリ性	6%、12%など
次亜塩素酸 カルシウム	固体 (顆粒・錠剤)	中性	70%以上
塩素化 イソシアヌル酸	固体 (顆粒・錠剤)	酸性	60%、90%など

4 プール水の塩素消毒

(2) 塩素濃度の管理

1.0mg/L
程度がよい

・遊離残留塩素濃度 常に0.4mg/L以上

15～30秒で病原菌等を不活化するのに必要な残留塩素濃度 (Tonney他)

遊離残留塩素濃度	病原菌等の種類
0. 10 mg/L	チフス菌・赤痢菌・コレラ菌・ブドウ球菌
0. 15 mg/L	ジフテリア菌、脳脊髄膜炎菌
0. 20 mg/L	肺炎双球菌
0. 25 mg/L	大腸菌・溶血連鎖球菌

1分で不活化するのに必要な残留塩素濃度 (甲野、吉井)

0. 4 mg/L	アデノウイルス
-----------	---------

4 プール水の塩素消毒（2）塩素濃度の管理

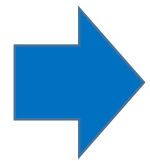
• 遊離残留塩素は自然に減少する

- ✓ 人や汚れ（有機物）と反応して減少
- ✓ 日光（紫外線）による分解



晴天時の屋外プールでは、
紫外線により遊離残留塩素が10分間で0.1mg/L程度分解。
水温30℃以上では減少が速くなる。

（学校における水泳プールの保健衛生管理）



使用直前に遊離残留塩素を測定、
1.0mg/L以上を確認してから遊泳開始
遊泳中も測定・塩素剤追加が必要！

4 プール水の塩素消毒（2）塩素濃度の管理

・遊離残留塩素濃度の測定方法

種類	注意点	製品例	
D P D法 比色計	試薬を入れたらすぐ に色を見る 測定後はセル（試験管） 等を水でよく洗う	 測定器	 試薬（粉・液）
試験紙	製品によって測定 範囲が異なる		 使用期限 に注意！

◎ デジタル式は定期的な校正が必要

4 プール水の塩素消毒（2）塩素濃度の管理

・塩素剤の投入量の計算

必要な塩素剤の量（mL または g）

$$= \frac{\text{プール容量(m}^3\text{)} \times (\text{目標濃度} - \text{現在濃度})(\text{mg/L})}{\text{塩素剤の有効塩素濃度 (\%)}} \times 100$$

塩素剤の袋や容器に記載

・計算例

○プール 容量 3m³（たて2m×よこ3m×深さ0.5m）

○目標濃度：1.0mg/L 現在濃度：0.2mg/L

○塩素剤濃度：6%（次亜塩素酸ナトリウム液）

$$\rightarrow \frac{3 \times (1.0 - 0.2)}{6} \times 100 = 40 \text{ mL}$$

投入後、
必ず測定する

4 プール水の塩素消毒（2）塩素濃度の管理

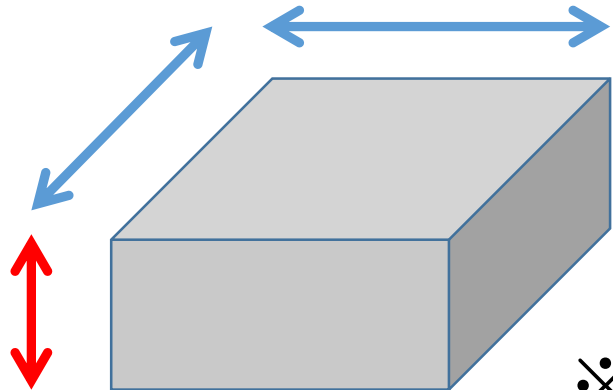
• 塩素剤の投入量の計算

プール容量の計算式

$$\text{「プール容量 (m}^3\text{)} = \text{底面積} \times \text{深さ} \text{」}$$

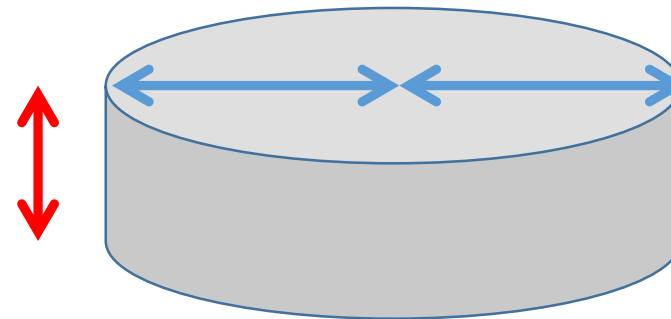
四角プール

(幅 × 奥行 × 深さ)



丸いプール

(半径 × 半径 × 3.14 × 深さ)



※単位はmで計算

4 プール水の塩素消毒（2）塩素濃度の管理

• 塩素剤投入量の一覧表

使用するプールの容量に合わせた塩素剤投入量の一覧表を作成しておくで便利

(例) プール容量 4m^3 、塩素剤60%塩素化イソシアヌル酸ナトリウム
遊離残留塩素を 1.0mg/L にするための投入量

測定値 (mg/L)	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
投入量 (g)	6.7	6.0	5.3	4.7	4.0	3.3

4 プール水の塩素消毒

(3) 塩素剤を扱う際の注意点

- ✓ **他の薬剤を混ぜない（混ぜるなキケン！）**
異なる薬剤を混ぜると、塩素ガス発生のおそれ
- ✓ **プールに直接入れない**
バケツ等で薄めたり、水に溶かしてからプールへ
- ✓ **濃度が均等になるように投入**
- ✓ **誤飲を招く容器は使用しない**
- ✓ **適切に保管する**
 - ①水ぬれ、直射日光を避ける
 - ②施錠する
 - ③薬剤ごとに分けて、薬剤名を表示する

5 遊泳前／中／後の確認事項

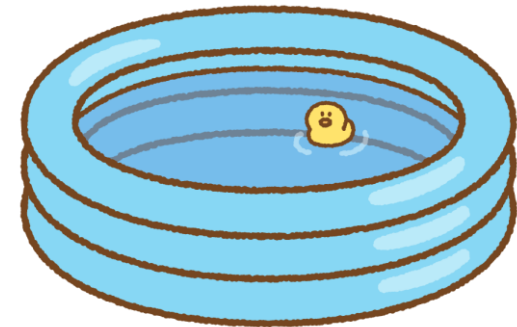
- (1) 遊泳前の準備・確認
- (2) 遊泳中
- (3) 遊泳後

5 遊泳前／中／後の確認事項

(1) 遊泳前の準備・確認

・水張り、設備の確認

- ✓ 設備、遊具の点検
- ✓ プール内外に異物はないか
- ✓ 排水口、吸込み口の点検
- ✓ プール水に濁りはないか
- ✓ プール水の残留塩素濃度



5 遊泳前／中／後の確認事項（1）遊泳前の準備・確認

・ソフト面の確認、準備



✓ 保育者の役割分担

監視担当、塩素剤の管理、子どもの誘導等

✓ 子どもの健康観察、準備

- ・連絡帳や子どもの様子を確認
- ・トイレを済ませる
- ・体の汚れを取る

温水シャワーの流水で、おしりを特に丁寧に
腰洗い槽、足洗い場を使用する場合は、
遊離残留塩素濃度：50～100mg/L

5 遊泳前／中／後の確認事項（1）遊泳前の準備・確認

プール水が原因と推定された 腸管出血性大腸菌O26

集団感染事例〔長野県〕 (IASR 2013年5月号 国立感染症研究所)

- 2012年8月 保健所に腸管出血性大腸菌O26 感染患者の届出
 - ➡ 患者は、保育所3歳未満クラスの園児
 - ➡ 最終的には、関係者61名から当該菌を検出（330人中）
- プールに入る前に足の砂を落とす金タライの水から当該菌検出
- パンツを脱がずにずらしたままお尻を洗っており、
パンツに染み込んだ水がタライに滴り落ちる状況
- お尻を洗った後、再びそのパンツをはいてプールに入っていたことから、プール水も同様に汚染されたことが推察
- プールは塩素消毒がされていなかった

5 遊泳前／中／後の確認事項（1）遊泳前の準備・確認

・ソフト面の確認、準備

✓ 気温、水温の確認…プール実施の判断

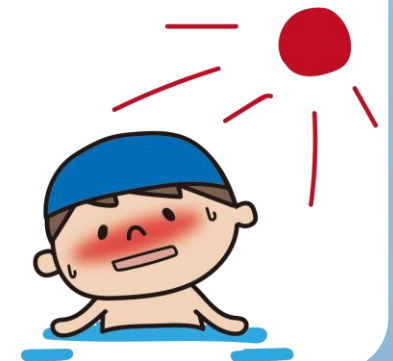
・水温の目安

学校体育実技指導資料第4集「水泳指導の手引」

低学年や初心者ほど水温に敏感で、一般に22℃未満ではあまり学習効果は期待できません。
そのため、水温は23℃以上であることが望ましく…

- 遊泳は26℃～31℃が適温（室内プールは29～31℃が適温）
- 水温が中性水温（33℃～34℃）より高い場合は、水中でじっとしていても体温が上がる
- 気温＞水温、風がないこと

・暑さ指数(WBGT)、熱中症予防情報の活用



5 遊泳前／中／後の確認事項（1） 遊泳前の準備・確認

< 暑さ指数を用いた指針 >

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安 ^(注1)	日常生活における注意事項 ^(注1)	熱中症予防運動指針 ^(注2)
31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は原則中止 特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28～31℃ ^(注3)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒(激しい運動は中止) 熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩を取り水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人 ^(注4) は運動を軽減または中止。
25～28℃ ^(注3)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休憩を取り入れる。	警戒(積極的に休憩) 熱中症の危険が増すので、積極的に休憩を取り適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21～25℃	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。	注意(積極的に水分補給) 熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。

< 熱中症予防情報サイト (環境省) >

屋外日向の暑さ指数計の使い方リーフレット(環境省)より

5 遊泳前／中／後の確認事項 (2) 遊泳中

✓ 監視

✓ 塩素測定

- ・ 1時間に1回以上
- ・ 低下していたら塩素剤を追加

✓ 子どもの体調確認、熱中症対策

- ・ 途中でトイレに行った場合は、もう一度体を洗う
- ・ 水分を多めに取らせる
- ・ 日よけの活用

消費者安全調査委員会
イラスト集より



5 遊泳前／中／後の確認事項 (3) 遊泳後

✓ 体をきれいにする

- ・シャワー、眼洗い、うがい

✓ 子どもの体調確認

- ・体調、ケガ、目の充血

✓ 設備の点検、清掃

- ・異物、破損はないか
- ・流水で丁寧に汚れを落とす
- ・プール水は基本的には毎回取り換える

※ 翌日も使う場合は

- ・遊泳後も消毒を行う（次の使用まで残留塩素保持）
- ・ゴミなどが入らないようにシートをかける



消費者安全調査委員会
イラスト集より

6 ご質問



今回いただいたご質問

- 小規模プールとは、家庭用のビニールプールなどの扱いも同様でしょうか。また、利用時間なども15分毎ぐらいとしての水の入れ替えがあった場合の対応も同じでしょうか。 → 複数人で使う場合は消毒必要。
- 腰洗いはどのようにすればいいか教えて欲しい。現状は、入水する前に水道水で陰部を流しているが、何秒以上必要など、具体的なものがあれば。 → 具体的なデータなし
- 暑さ指数でのプールの取組みは？ → スライド③⑥

毎年よく聞かれる質問

Q 1 オムツ着用の乳幼児をプールに入れても大丈夫か。

A 1 大丈夫とは言い切れない。
塩素消毒を行っていても多量の有機物と反応すると、塩素はすぐに消失する。
水着タイプのオムツも過信はできない。

「保育所における感染症対策ガイドライン」
『排泄が自立していない乳幼児には、個別のタライ等を用いてプール遊びを行い、他者と水を共有しないよう配慮する。』と明記されている。

Q 2 水は利用当日に貯めたほうが良いのか。

A 2 砂ぼこり、紫外線の影響を考えると、新鮮な水のほうが衛生的である。
水温にも配慮して、塩素管理を十分に！

Q 3 プール帽の使用について、規定はあるのか。

A 3 条例では着用を義務付ける規定はない。
衛生面や設備管理、事故防止の観点からは着用したほうが良い。

Q4 日焼け止めは使用して良いのか。

A4 日焼け止めは、汚れの要因になる。
プールの形式（躯体利用、簡易FRP、ビニール）により水の入れ替え、貯水量、塩素管理が異なるため、水質に影響がない（塩素消毒に影響がない）ものであれば使用をしても良い。
紫外線の強度と日射時間、体質で影響が異なるため、ラッシュガードを着たり、日陰を作るなどの対策も併用し、皮膚が赤くなるような場合には日焼け対策が必要となる。

Q5 タライに入れた水に複数名が手を入れて遊ぶ時は、水を消毒したほうがよいか。

A5 同じ水で複数名と一緒に遊ぶ場合は、感染防止のため消毒をしたほうが良い。

「保育所における感染症対策ガイドライン」によると…

『低年齢児が利用することの多い簡易ミニプール（ビニールプール等）についても塩素消毒が必要である。』と明記されている。

今年も衛生、安全に気をつけて
楽しくプールを御利用ください

